

令和 7 年 度 福 知 山 市 施 策 レ ビ ュ ー 【 当 日 資 料 】

日 時：令和7年8月2日（土） 9時00分～18時10分
8月3日（日） 9時30分～16時10分
場 所：市民交流プラザふくちやま 3階 市民交流スペース

ご来場のみなさまへ

1 施策レビューは自由に傍聴できます

- （1）いずれの施策についても自由に傍聴できます。
- （2）施策改善推進委員、施策改善市民パートナーが自由に発言できる環境を整えるため、一般傍聴席での録画・録音はご遠慮ください。

2 傍聴時のマナーとしてお守りいただきたいこと

- （1）施策レビュー実施中は、お静かに傍聴願います。施策レビューの議論は、コーディネーター、施策改善推進委員、施策改善市民パートナー、市説明者がそれぞれの役割に従って進めます。
傍聴者の皆さまに発言を求めることはありません。
- （2）発言や拍手等の方法で意見を表明するなどの行為、横断幕やプラカード等で意思表示するなどの行為は慎んでください。特に進行の妨げとなるような場合には退室していただくことがあります。
- （3）携帯電話はマナーモードに切り替えるか、電源をお切りください。
- （4）会場への入退室は、施策レビューの妨げにならないようお静かにお願いします。

3 その他（注意事項）

- （1）施策レビューのスケジュールは、進行状況により前後することがあります。
- （2）傍聴人の方は会場内での飲食はできません。また、会場内を含め敷地内は全面禁煙です。
- （3）会議運営等に伴う市の職員の指示に従っていただきますようお願いいたします。

皆さまのご協力をお願いいたします。



福 知 山 市

■お帰りの際に、施策レビューに関するアンケートにご協力ください。■

目 次

1 施策レビューの概要	・・・ 1
--------------------	--------------

目的／基本的な考え方

2 施策レビューの実施体制	・・・ 2
----------------------	--------------

施策レビューにおける役割／施策改善推進委員名簿

3 会場案内図及び会場レイアウト	・・・ 4
-------------------------	--------------

4 プログラムとタイムスケジュール	・・・ 5
--------------------------	--------------

5 進行手順と改善シートの記載方法	・・・ 6
--------------------------	--------------

6 「まちづくり構想 福知山」の長期ビジョンと政策の体系	・・・ 9
-------------------------------------	--------------

7 資料の種類と見方	・・・ 13
-------------------	---------------

施策体系シート

【補足資料】事務事業評価シート・各施策の説明資料

1 施策レビューの概要

1-1 施策レビューとは

「まちづくり構想 福知山」で掲げる施策について、所管部署が毎年度、取組内容や成果指標の達成状況、改善の方向性等の自己点検・確認を行い、政策目標の実現に向けた取組や施策を構成する事業について不断の見直しを行うこと。

1-2 施策レビューの目的

- (1) 政策目標の実現に向けた進捗状況や課題解決の取組等について、外部の意見を得ながら多角的に検討を行い、政策目標の実現に向けた取組をより実効性あるものに改善するとともに、各施策を構成する事業についても一体的に見直しを図る。
- (2) 市民に広く公開された場で、施策改善推進委員と客観的な指標に基づき政策目標の実現に向けた取組が効率的・効果的に実施されているか議論を行うことで、行政の透明性を高め、市民への説明責任を果たすとともに、市民と行政の協働のまちづくりやコミュニケーションの促進を図るための共通認識を醸成する場とする。
- (3) 施策レビューでの議論を通じ、市職員の政策形成能力の向上を図る。

1-3 基本的な考え方

- (1) 施策レビューでは、政策目標の実現に向け施策上解決すべき課題を捉え、体系だてて課題解決の方向性を設定しているか、構成する事業が適切に位置づけられているかを議論します。
- (2) 改善すべき点や見直しの方向性について、市が本来果たすべき役割を改めて確認するとともに必要な改革に取り組みます。
- (3) 施策レビューでは、政策目標の実現に向け、各施策を構成する事務事業の役割、効果についても議論し、各事務事業が効率的・効果的なものとなるよう見直しに繋げていきます。
- (4) 施策レビューにおける議論の結果は、市の最終判断となるものではありません。施策レビューでの議論、委員等からの意見等を厳粛に受け止め、市の方針決定するための重要な参考とするものです。

【用語の説明】

基本政策	65歳以上の高齢者人口がピークを迎え、社会経済環境が大きく変化すると見られている2040年に、市民生活が置かれているリスクを想定し、市民が幸せを生きるための将来像と、それを実現するための今後5年間の中核的な方針
政策目標	各基本政策を実現するために掲げる、分野ごとに達成すべき政策目標
施策	政策目標を達成するための方策
施策の成果指標	政策目標の達成に向けた各施策の取組の進捗度合いを測るための指標
重点事業	課題解決に向けて市が重点的に取り組んでいる事業

※各用語の構成等具体的なことについては、9～12ページをご覧ください。

2

施策レビューの実施体制

2-1 施策レビューにおける役割

■コーディネーター

施策レビューの進行役を務め、施策改善推進委員と説明者の間で有意義な議論が円滑に進むように促します。同時に、議論を整理しながら、必要な質問・指摘・解決手段の提起や取りまとめを行います。

■施策改善推進委員

説明者から施策及び施策に紐づく事業の説明を受け、質問を投げかけながら課題の指摘や課題解決の手段について提案を行う等、議論を行います。

■施策改善市民パートナー

施策改善推進委員と説明者との議論を聴き、施策及び施策に紐づく事業が効果的に実施されているかを確認するとともに、施策レビューで感じた意見・感想・改善提案等をシートに記入します。

■説明者

市の施策担当部課職員が、施策や事業の説明及び施策改善推進委員との議論を行います。

■事務局

市長公室経営戦略課の職員が、施策レビューの冒頭で概要について説明を行います。

2-2 施策改善推進委員名簿

■8月2日（土）

役割	氏名	所属等
コーディネーター	南島 和久	・龍谷大学 政策学部 教授
施策改善推進委員	井上 直樹	・福知山市行政改革推進委員 ・福知山公立大学 地域経営学部長
施策改善推進委員	浦尾 たか子	・福知山市行政改革推進委員 ・京南倉庫株式会社 常務取締役
施策改善推進委員	細見 祐介	・福知山市行政改革推進委員 ・公認会計士 税理士
施策改善推進委員	豊島 永子	・自治基本条例推進委員会委員 ・有限会社 山城屋茶舗 取締役

■8月3日（日）

役割	氏名	所属等
コーディネーター	南島 和久	・龍谷大学 政策学部 教授
施策改善推進委員	井上 拓	・福知山市行政改革推進委員 ・フューチャー株式会社 ITコンサルタント
施策改善推進委員	岡 恵	・福知山市行政改革推進委員 ・特定侵害訴訟代理業務付記弁理士 行政書士
施策改善推進委員	村尾 慎哉	・福知山市行政改革推進委員 ・公認会計士 税理士
施策改善推進委員	水口 一也	・自治基本条例推進委員会委員 ・毛原の棚田ワンダービレッジプロジェクト 代表

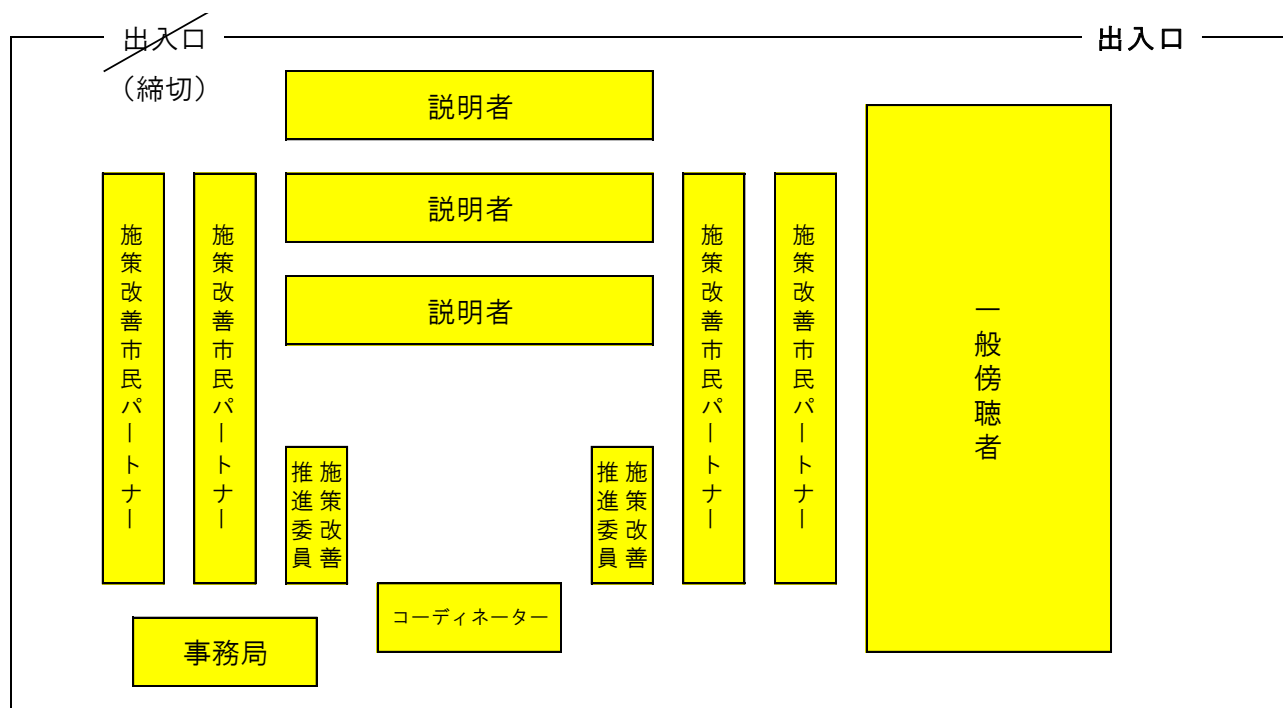
3 会場案内図及び会場レイアウト

3-1 会場案内図



3-2 会場レイアウト

市民交流スペース



4

プログラムとタイムスケジュール

■8月2日（土）

9:00～ 9:20 開会式（視聴覚室）

9:30～18:10 施策レビュー（以下のとおり）

基本政策4：市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

No	予定時間	施策担当部	施策名
1	9:30～9:35	事務局	概要説明
2	9:35～11:50	教育委員会	【子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実】 4-1-1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進
休憩			
3	13:00～13:05	事務局	概要説明
4	13:05～15:20	教育委員会	【子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実】 4-1-2 子どもの学びと成長の土台づくり
休憩			
5	15:40～15:45	事務局	概要説明
6	15:45～18:00	教育委員会	【子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実】 4-1-3 豊かな人間性を育む教育の実践

■8月3日（日）

9:30～15:30 施策レビュー（以下のとおり）

15:40～16:10 閉会式

基本政策4：市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

基本政策7：市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち

No	予定時間	施策担当部	施策名
1	9:30～9:35	事務局	概要説明
2	9:35～11:50	市民生活部	【学びを深められる地域資源の継承・発展】 4-3-1 文化財の保護・活用と地域文化の継承
休憩			
3	13:00～13:05	事務局	概要説明
4	13:05～15:20	産業部 市長公室 こども家庭部	【働く意欲を支える支援制度の充実】 7-1-1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出

5 進行手順と改善シートの記載方法

5-1 進行手順

次の手順により、1施策あたり140分(休憩10分含む)で議論を深め、参画者の意見を取りまとめます。

1 概要説明

5分

事務局職員（経営戦略課）が、施策レビューの概要について説明を行います。

2 課題解決に向けて取り組む事業（重点事業）の説明

15分

市の担当職員が、課題解決に向けて取り組む事業（重点事業）について、事務事業評価シート等により、課題認識、課題解決に向けた方向性や取組状況などについて説明します。

3 質疑応答及び議論

35分

施策改善推進委員が、質問や確認を行いながら、課題認識、課題解決に向けた方向性や取組状況などについて議論を深めます。

10分

休憩

4 政策目標の実現に向けた課題及び課題解決に向けた取組状況について説明

10分

市の担当職員が、政策目標の実現に向けて掲げる施策について、施策体系シートに沿って課題認識、課題解決に向けた取組の方向性や取組状況について説明します。

5 質疑応答及び議論

20分

施策改善推進委員が、政策目標の実現に向けての課題認識や取組の方向性について質問を行います。質疑を通して政策目標の実現に向けてどうすべきかについて議論を深めます。

6 疑問点解消・意見の発表

20分

施策改善市民パートナーは、ここまでの説明や議論を聞く中で感じた疑問点や意見を発表し、市の担当職員が疑問点の解消や意見に対する回答を行います。

7 施策改善推進委員の意見・提案（施策改善市民パートナー改善シート記入）

15分

施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーは、政策目標の実現に向け「①課題が明確になっているか」、「②取組の方向性は合っているか」、「③課題解決に向けて取り組む事業として貢献できているか」の3点から施策の有効性や意見について改善シートに記載します。
また、コーディネーターが施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーからの改善意見を取りまとめます。

8 意見とりまとめ結果発表・まとめ

10分

コーディネーターが意見とりまとめ結果を発表します。

5-2 役割別進行手順

- 1 概要説明（冒頭5分）
- 2 施策レビュー（140分(休憩10分含む)）

	コーディネーター	施策改善推進委員	事務局・説明者	施策改善市民パートナー
概要説明 (5分)			事務局が当日資料により説明	
課題解決に向けて取り組む事業（重点事業）の説明 (15分) 質疑応答・議論 (35分) ①取組の方向性を踏まえた事業の実施目的 ②具体的にどのようなことを行っているのか ③事業実施によりどのような効果があるのか	課題解決に向けて取り組む事業について、コーディネーターと施策改善推進委員から、市説明項目①、②、③に関して質疑及び議論		説明者が事業事業評価シート等により説明 質疑への回答 議論	説明や議論を聞きながら、必要な部分は各自でメモ
休憩 (10分)	休憩			
政策目標の実現に向けた課題及び課題解決に向けた取組状況について説明 (10分) 質疑応答・議論 (20分) ①現状把握 ②課題設定 ③取組の方向性・改善する内容	政策目標の実現に向けての課題認識や取組の方向性について、コーディネーターと施策改善推進委員から、市説明項目①、②、③に関して質疑及び議論		説明者が施策体系シートにより説明 質疑への回答 議論	説明や議論を聞きながらメモ感想、意見、意見区分等、自身の考えを整理
疑問点の解消・意見の発表 (20分)	市説明や議論の中で施策改善市民パートナーが感じた疑問点の解消		疑問点への回答	市説明や質疑等の中での疑問点を発表（挙手）
施策改善推進委員の意見・提案（施策改善市民パートナー改善シート記入） (15分)	施策改善推進委員の意見、改善提案のとりまとめ	意見の発表（挙手）改善提案	施策改善市民パートナーからシートを回収	改善シートに意見等記載記載したシートを事務局職員へ提出
意見とりまとめ結果発表・まとめ (10分)	施策改善市民パートナーの意見発表議論のまとめ		施策改善市民パートナーのシートの意見を集計	

5-3 改善シートの記載方法

施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーは、「Ⅰ 政策目標の実現に向けた施策の取組について」と「Ⅱ 施策の有効性について」の2つの観点で意見整理を行います。

「政策目標の実現に向けた施策の取組について」では、3つの項目により取組内容や取組状況を確認し、施策の有効性について判断します。

Ⅰ 政策目標の実現に向けた施策の取組について

項目	※率直なご意見として該当すると思われる項目番号 (1～3のいずれか)に○をつけてください。		
1 課題が明確になっているか	そう思う (明確になっている)	どちらともいえない	そう思わない (明確になっていない)
2 取組の方向性は合っているか	そう思う (方向性は合っている)	どちらともいえない	そう思わない (方向性がバラバラ)
3 課題解決に向けて取り組む事業として貢献できているか	そう思う (貢献している)	どちらともいえない	そう思わない (貢献していない)

- ・施策レビューは、政策目標の実現に向けて各施策を着実に推進し、かつ、その効果を高めていくことを主眼に置いています。
- ・施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーは、議論を通じ、課題の捉え方・取組の方向性・事業実施による貢献度について、それぞれの項目で意見区分を判断し記載します。

Ⅱ 施策の有効性について

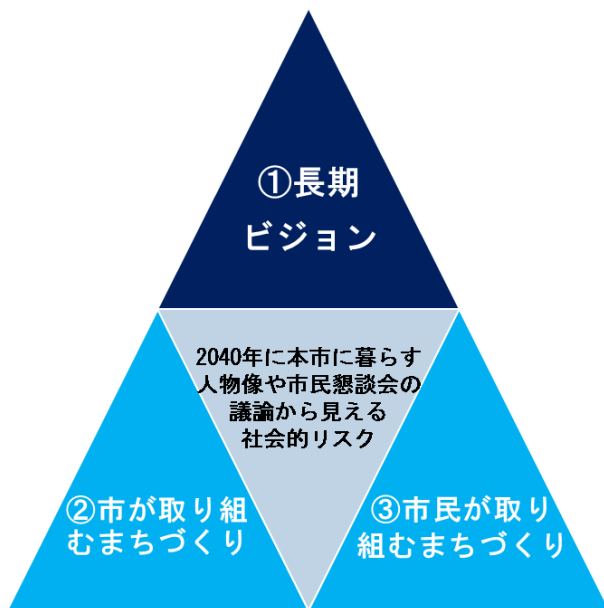
項目	意見区分	
政策目標の実現に向けた施策の有効性	有効である	有効ではない

- ・この項目は、政策目標を達成する手段として、市の掲げる施策の有効性を整理いただくものです。

「Ⅰ 政策目標の実現に向けた施策の取組について」での意見内容を踏まえて、施策が十分に機能していると思われる場合は「有効である」を、施策の取組は必要ではあるが、有効性は不十分であると思われたら「有効ではない」を選択いただきます。

- 最終とりまとめは後日、事務局（市経営戦略課）で公表します。
- 施策レビューでいただいたご意見は、そのまま市の最終判断となるものではありません。施策レビューでの議論やいただいたご意見を踏まえ、施策を所管する市担当部課が改善を検討し、今後の取組に活かしていきます。

1 「まちづくり構想 福知山」の全体構成



「まちづくり構想 福知山」は、
「市民と共に考え、市民と共に作り、市民と共に
実行する」計画として目標とすべき

①長期ビジョン（2040年の将来像）

を定め、それを実現するために

②市が取り組むまちづくり（施策の体系）

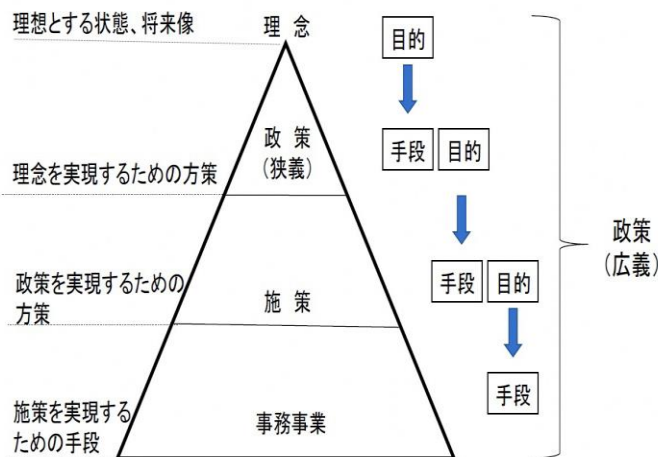
と

③市民が取り組むまちづくり
（市民懇談会の21の提案）

の両輪で取り組むこととしています。

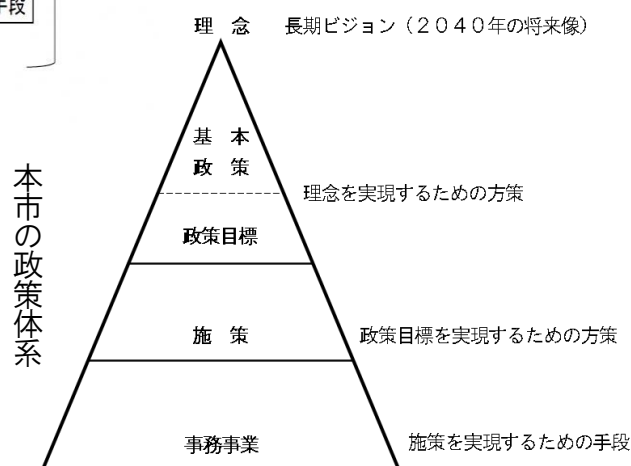
2 政策体系(政策の構造)

「市が取り組むまちづくり」を構成している政策体系については、総務省が体系化しているものになっています。



○政策は階層性を持つ。

- ・「目的—手段（目的）—手段（目的）—…」という関係が連鎖的につながる体系（より高次の目的を達成するための手段、さらにその手段の実現を目的として、これを達成するための手段…といった関係が階層的に連鎖）
- ・この「目的—手段」の連鎖からなる体系を「政策体系(政策の構造)」という。



3 市民が幸せを生きるための将来像（長期ビジョン）

市民が幸せを生きるための 将来像	内容
ほどよい距離感で、 さりげない支え合いに 幸福を感じるまち （「ありがとう！つながりと感謝 の因子」より）	これからの時代は、地域での支え合いがいっそう大切となります。例えば、身体が不自由で普段は支えられる側の人でも、困っている人のためにできることがきっとあるはず。誰もが、自分のできる範囲で、お互いに支え合う。そんな日々の営みに幸せを感じることができるまちをめざします。
多様性や個性を尊重し、 自分なりに歩めるなかに 幸福を見いだすまち （「ありのままに！独立とマイ ペースの因子」より）	年齢や性別、国籍、障害の有無などに関わらず、それぞれの人がそれぞれの思いで、夢を叶えようとする。それを周りの人が認め、応援する。誰ひとりとして まったく同じ人のいないこの世の中で、一人ひとりの違いを認め合い、支え合う。誰もが、自分なりの歩み方で幸せを見いだすことができるまちをめざします。
いつでも前向きに、 お互いを高め合うことで 幸福を呼びこむまち （「何とかなる！前向きと楽観の 因子」より）	いつ、どのようなタイミングでも、好奇心をもって人生を楽しむ。学び、スポーツ、仕事。生涯を通して、様々な機会を通して学び、成長しようとする。自分にあった趣味を見つけたり、いくつになっても生涯現役を貫いたりする。そんな活動的な人生をおくり、他者との交流を通じてお互いを高め合い、幸せを呼び込むまちをめざします。
チャレンジ精神にあふれ、 努力と創意工夫を重ねて 幸福をつなげるまち （「やってみよう！自己実現と成 長の因子」より）	歴史が物語るように偉大な一歩は新たなチャレンジから始まります。激しく変化していく時代の中だからこそ、新たな試みを揶揄したり卑下したりすることなく、まずはやってみる、ダメなところは改善する、ゴールをめざして努力と創意工夫で果敢に挑んでいく。そんなチャレンジ精神あふれた人の行動が伝播し、まちづくりやビジネスの可能性が広がり、幸せが繋がっていくまちをめざします。

3-1 幸福の4因子 将来像を描く際には、会社経営やコミュニティづくりで用いられる「幸福学」の「幸福の4因子」の考え方を取り入れています。

○「ありがとう！つながりと感謝の因子」

社会の中で生きている人は、周りの人とのつながりのなかで幸せを感じる。多様なつながりや、利他性（他人のために貢献したい気持ち）が強い人ほど幸せになる。

○「ありのままに！独立とマイペースの因子」

自分に集中し、いわば「本当の自分らしさ」を探して磨くこと、自分の好きなことや得意なこと、ワクワクすることを突き詰めていくと、自分でも知らなかった「本当の自分らしさ」にたどり着ける。

○「何とかなる！前向きと楽観の因子」

「ポジティブに考える」こと、常に「何とかなる」と考えていれば、必要以上に挑戦を恐れることなく、行動に踏み出しやすくなる。

○「やってみよう！自己実現と成長の因子」

夢や目標に向かって「やってみよう」と主体的に努力を続けられる人は、何も行動を起こさない人よりも幸せになる。

4 見えてきた市民生活の社会的なリスク(キーワード)



掛け
合わせ
る

地域活動のあり方	自治会役員の担い手不足や超高齢化 など
自然環境・地域資源の保全・活用	市の文化活動の核となる取組や拠点の不足 など
子どもの育み	身近な場において限りのある障害のある子どもへの支援 など
自分らしい学び	家庭の経済状況に左右される子どもの学び など
健康・生きがい	様々なストレスが蔓延する中での身体的、精神的、社会的な健康の維持・増進の難しさ など
最期まで生き生きとした暮らし	高齢者のみ世帯における老々介護 など
魅力的な働き方	起業の機会や時代に合った多様な働き方の選択肢の少なさ など
地域産業の発展	稼ぐ力の弱い経営をしている農林水産業者 など

※詳細は、冊子「まちづくり構想 福知山」13～14ページをご覧ください。



5 基本政策

「3 市民が幸せを生きるための将来像（長期ビジョン）」に「4 見えてきた市民生活の社会的なリスク」を掛け合わせて、概ね8つの政策の方向として取りまとめました。その8つの政策の推進のための社会的基盤（いわゆるハード）を整備するという1つの政策を合わせて、以下の9つの基本政策を打ち出しました。

市民一人ひとりが、

- ① まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち
- ② 自然や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち
- ③ お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち
- ④ いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち
- ⑤ その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち
- ⑥ 最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち
- ⑦ 生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち
- ⑧ 時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

上記①～⑧の推進にあたり、

- ⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

（基本政策4）

市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

政策目標4-1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実

- 施策① 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進
- 施策② 子どもの学びと成長の土台づくり
- 施策③ 豊かな人間性を育む教育の実践

指標（政策目標）	現況	目標
中学生の質問紙調査において「挑戦心、達成感、自己有用感等」の回答が肯定的な生徒の割合	挑 戦 心 70.9% 達 成 感 94.2% 自己有用感 70.9% (2019 (R1) 年)	挑 戦 心 75.0% 達 成 感 95.0% 自己有用感 75.0%

政策目標4-3 学びを深められる地域資源の継承・発展

- 施策① 文化財の保護・活用と地域文化の継承

指標（政策目標）	現況	目標
有形・無形文化財や福知山公立大学の学術研究の認知度	—	50%

（基本政策7）

市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち

政策目標7-1 働く意欲を支える支援制度の充実

- 施策① スキル取得やキャリア形成の機会の創出

指標（政策目標）	現況	目標
就業率	56.7%	57.0% (2025 (R7) 年)

7-1 資料の種類

資料は「説明資料」、「補足資料」の大きく2つに分かれており、主に「説明資料」を基に議論を行います。

■説明資料

(1) 施策体系シート（14～16ページ）

施策について、政策目標の実現のために解決すべき課題、課題解決に向けて取り組むべき対応の方向性及び取組内容（事業）を体系的に表したシート

■補足資料

(2) 事務事業評価シート（17～20ページ）

各施策を構成する事務事業について、事業ごとに説明したシート

(3) 各施策の説明資料

各施策の取組等を議論する上で、説明の根拠となる資料

7-2 施策体系シートの見方

施策体系シート

施策名			
基本政策	①		
政策目標	②	政策目標 成果指標	④
施策	③	施策 成果指標	⑤
担当部	⑥		
個別計画	⑦		

⑧	「まちづくり構想 福知山」策定時の政策目標 実現のために（施策上）解決すべき課題	⑨	「まちづくり構想 福知山」策定時の対応の方向 （左記の課題解決に向けて取り組むべき方向性）
・○○○○○ ○○○○○		・○○○○○ ○○○○○	

⑩	「まちづくり構想 福知山」策定以降 令和6年度末時点で設定している課題	⑪	対応の方向 左記の課題解決に係る 令和7年度の取組の方向性	課題解決に向けて取り組む事業（重点事業）		⑭	担当課	⑮	施策を構成する事業 （その他の事業）
【課題】 ・○○○○○ ・○○○○○ 【背景】 ・○○○○○ ・○○○○○		【方向性】 ・○○○○○ ・○○○○○		⑫	事業名 （令和7年度当初予算額） ○○事業 （○○,○○○千円）	⑬	事業のアウトカム（成果実績） （実績値／目標値） ・○○○○○（％） R2（○○/○○）R3（○○/○○） R4（○○/○○）R5（○○/○○） R6（○○/○○）	○○課	・○○事業 ・ 基本政策又は政策目標達成 のために寄与する事業 （関連事業）
【課題】 ・○○○○○ ・○○○○○ 【背景】 ・○○○○○ ・○○○○○		【方向性】 ・○○○○○ ・○○○○○		○○事業 （○○,○○○千円）	・○○○○○（件） R2（○○/○○）R3（○○/○○） R4（○○/○○）R5（○○/○○） R6（○○/○○）	○○課			
【課題】 ・○○○○○ ・○○○○○ 【背景】 ・○○○○○ ・○○○○○		【方向性】 ・○○○○○ ・○○○○○		○○事業 （○○,○○○千円）	・○○○○○（人） R2（○○/○○）R3（○○/○○） R4（○○/○○）R5（○○/○○） R6（○○/○○）	○○課	・○○事業（0-0-0） ・ ・		
※事業名の後に施策体系コードを記入									

- 【シートを見る際のポイント】
- （１）8「政策目標の実現のために（施策上）解決すべき課題」、9「対応の方向」は、「まちづくり構想 福知山」策定時（令和3年度）の課題と対応の方向性となっており、策定以降市が施策の取組をおこなう中で出てきた課題と対応の方向性を10「策定以降、令和6年度末時点で認識している課題」、11「対応の方向（課題解決に係る令和7年度の取組の方向性）」に記載しています。

（２）11「対応の方向（令和7年度の取組の方向性）」に対応する事業のうち、課題解決に向けて市が重点的に取り組んでいる事業（重点事業）を12「事業名」、過去からの経過を把握するため令和2年度以降の実績値（令和3年度以前は、「まちづくり構想 福知山」策定前の実績値）、実績値が把握できない年度については「―」（ハイフン）を13「事業のアウトカム（成果実績）」に記載しています。

（３）上記（２）の12「事業名」以外の取組事業は15「施策を構成する事業（その他の事業）」に記載しています。また、事業成果が基本政策や政策目標の達成に直接寄与する事業は16「基本政策又は政策目標達成のために寄与する事業（関連事業）」に記載しています。

施策体系シートの解説

様式中 参照	項目	表の見方・解説
①	基本政策	「まちづくり構想 福知山」の長期ビジョンに掲げる「市民が幸せを生きるための将来像」を実現するための中核的な方針となる基本政策名を記載しています。
②	政策目標	各基本政策を実現するため、分野ごとに達成すべき政策目標を記載しています。
③	施策	「まちづくり構想 福知山」における施策名を記載しています。
④	政策目標成果指標	「まちづくり構想 福知山」における政策目標に係る成果指標を記載しています。
⑤	施策成果指標	「まちづくり構想 福知山」における施策に係る成果指標を記載しています。
⑥	担当部	施策を担当する主要部署を記載しています。
⑦	個別計画	「まちづくり構想 福知山」の施策に関連する分野ごとの個別計画を記載しています。
⑧	政策目標の実現のために (施策上)解決すべき課題	政策目標の実現のために施策推進において解決すべき課題を記載しています。
⑨	対応の方向 (課題解決に向けて取り組むべき方向性)	⑧に記載する課題の解決に向けて取り組むべき方向性を示しています。
⑩	策定以降、令和6年度末時点で認識している課題	令和6年度末時点での施策についての課題認識を記載しています。
⑪	対応の方向 (課題解決に係る令和7年度の取組の方向性)	令和6年度末時点での施策についての課題認識を踏まえ、令和7年度に既に取り組んでいること及び取り組む予定としていることを記載しています。
⑫	事業名 (令和7年度当初予算額)	⑪の課題解決に向けて取り組む事業で重点度の高いもの、令和7年度の当初予算額を記載しています。
⑬	事業のアウトカム (成果実績) (実績値／目標値)	⑫の事業ごとの指標の令和6年度以前、過去5年間の実績値を記載しています。 令和元年度から令和3年度までについては、「まちづくり構想 福知山」策定前の実績値となります。
⑭	担当課	施策を構成する事業の担当課名を記載しています。

様式中 参照	項目	表の見方・解説
⑮	施策を構成する事業 (その他の事業)	施策を構成する事業で⑫に比べ重点度の低いものを記載しています。
⑯	基本政策又は政策目標達成 のために寄与する事業 (関連事業)	施策を構成する事業にはならないものや他の施策を構成する事業で、事業の成果が基本政策又は政策目標達成のために寄与する事業を記載しています。 (⑫及び⑮に記載の事業は除く) 施策体系コードを記入し、どの施策を構成している事業かわかるように記載しています。

【補足資料】 事務事業評価シートの見方

I 事業属性

(単位：千円)

事業名	①										事業コード	
政策体系	基本政策	②							政策目標	③		
	施策名	④							施策コード			
事業担当	所属	⑤							所属長	⑥		
⑦ 会計情報	款		項		目		会計		決算附属資料		頁	
計画期間	開始年度	⑧	終了予定年度	⑨	関連計画名	⑩			R7現在の状況			
根拠法令等	⑪											
⑫ 事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()											
関連事業	⑬											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ⑭											
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ⑮											
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ⑯											
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ⑰											
⑱ 対象者								対象者数	-	単位あたりコスト	⑲	
⑳ 実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()											
委託先・実施主体等	㉑											
㉒ 主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R5)	主な業務内容				費目	実績(R5)	主な業務内容			

III 予算執行状況

区 分	R5(評価前年度)	R6(評価年度)	R7(本年度)	R8(要求年度)		
予 算 情 報	① 当初予算			0		
	② 補正予算			0		
	③ 繰越予算	㉓		0		
	前年度繰越			0		
	次年度繰越			0		
小計(①～③)	0	0	0	0		
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源			0		
	② 国支出金			0		
	③ 府支出金	㉔		0		
	④ 地方債			0		
	⑤ その他特財			0		
決 算 情 報	① 流充用額					
	② 配当予算	㉕				
	③ 執行額					
	④ 執行率	㉖ 0.0%	0.0%			
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員・会計年度任用職員)	㉗ /	/ 0.00	/		
	② 概算人件費	0	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	⑳	種類	実績金額	決算附属資料	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
	②	目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	③								
		当初見込							
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	④								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
	⑤	目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	⑥								
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	⑦								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	⑧
現状の課題に対する改善策	⑨

事務事業評価シートの解説

	様式中 参照	項目	表の見方・解説
一 事業 属 性	①	事業名	事務事業評価における事業名を記載しています。
	②	基本政策	「まちづくり構想 福知山」の長期ビジョンに掲げる「市民が幸せを生きるための将来像」を実現するための中核的な方針となる9つの基本政策名を記載しています。
	③	政策目標	各基本政策を実現するため、分野ごとに達成すべき政策目標を記載しています。
	④	施策名	政策目標を具体的に達成するための施策を記載しています。 政策目標⇔施策、施策⇔事業は、それぞれ目的⇔手段の関係にあります。
	⑤	所属	事業を実施する担当課を記載しています。
	⑥	所属長	評価内容に責任を有する者（課長級職）を記載しています。
	⑦	会計情報	予算の歳出費目を記載しています。
	⑧	開始年度	評価の対象となった事業の開始年度を示しています。
	⑨	終了予定年度	事業の終了予定年度を示しています。
	⑩	関連計画名	「まちづくり構想 福知山」を除き、当該事業の位置付けがある計画等を記載しています。
	⑪	根拠法令等	事業実施の根拠となる法令等を記載しています。
	⑫	事業区分	法定受託事務／国府補助事業／市単独事業／内部庶務的事業／その他 から選択しています。（複数選択可）
	⑬	関連事業	関連事業や目的が類似した事業があれば記載しています。
二 事業 基 礎 情 報	⑭	背景(現状)	事業を実施する背景や事業における現状を記載しています。
	⑮	課題	事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところを課題として記載しています。
	⑯	事業目的	背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのかを記載しています。
	⑰	事業概要	目的を達成するために講じる事業概要等を記載しています。
	⑱	対象者、対象者数	事業の対象となる者、人数を示しています。
	⑲	単位あたりコスト	令和6年度総事業費(予算ベース)を対象者数で除した数値を示しています。
	⑳	実施方法	事業の実施方法（形態）を示しています。 市による直接実施、民間等への業務委託や指定管理、補助金交付、工事・修繕等の手法により区分しています。（複数選択可）
	㉑	委託先・実施主体等	事業の実施主体が市と異なる場合、委託先や実施主体等を記載しています。（令和6年度実績）

	様式中 参照	項目	表の見方・解説
	②③	予算情報	当該年度の当初予算額、補正予算額、繰越予算額を記載しています。
≡ 予算執行状況	②④	予算財源内訳	予算額に対する財源を記載しています。
	②⑤	決算情報	当該年度の流充用額、配当予算額、執行額、執行率を記載しています。
	②⑥	執行率	予算額（人件費は含まない）に対する執行額の割合（百分率）です。
	②⑦	従事職員数	年間当たりの業務量(時間)を人員数で示しています。
	②⑧	主な利用特財	利用した特定財源の内、主なものを3つまで記載しています。 (令和6年度実績額)
≡ 業績指標	②⑨	成果指標及び成果実績 (直接・短期アウトカム)	事業の目的(施策実現に向けて事業が果たす役割)を踏まえ、政策・施策目標の達成に寄与する指標を示しています。 上段に成果実績、中段に目標値、下段に達成度を、併記しています。
	③⑩	活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標及び活動実績(アウトプット)とは、実施者が活動内容(アクティビティ)を実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績を示しています。成果指標及び成果実績を実現するために、必要な活動を行えたかどうかを測ることができる指標を示しています。 上段に活動実績、下段に当初見込みを併記しています。
	③⑪	活動内容 (アクティビティ)	活動内容(アクティビティ)は、活動指標及び活動実績(アウトプット)、成果指標及び成果実績(直接・短期アウトカム)につながる、事業の具体的な活動を示しています。誰を対象に何を行うのかを記載しています。
≡ 事業担当所属内による自己点検	③⑫	定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	事業目的（施策実現に向けて事業が果たす役割）を踏まえ、指標等の達成状況や定性的な面も含めた担当課による評価及び課題を記載しています。
	③⑬	現状の課題に対する改善策	現状の課題の解決に向けて、事業をより良いものとするための具体的な取組事項を記載しています。



福知山市
Fukuchiyama city